



Kid's Ver.

ありがとう！子育てワークショップ【キッズ版】

キッズ版では、3歳前後から小学生の児童を育てている保護者の子育てを具体的にサポートします。

たとえば、スーパーでお菓子をねだる子どもに対してどう対応すればよいでしょうか。周囲の目もあるし恥ずかしいので、

「口封じ(?)」代わりにお菓子を買ってあげるなら、その保護者の行動が、子どもの問題行動を助長することになります。

ワークショップでは、このような場面に対応するための学びだけではなく、現場で実行できるように練習します。たった2時間、小グループで楽しく、簡単な反復練習をすることで、子育てのコツを身に付けることができます。



●教育政策ラボラトリーの

ありがとう！ 子育てワークショップ

ありがとう！子育てワークショップ【ティーンズ版】

ティーンズ版は、小学校高学年から高校生の児童や生徒を育てている保護者向けの自立支援プログラムです。

子どもの自立を助けるために保護者ができること。それはたったの3つにしばられます。この3つを軸に、具体的な場面を想定して対応の練習をします。

たとえば、宿題をせずにいつまでもテレビを見ている子どもに、ついガミガミ行ってしまうような場合、子どもを苛立たせないようにしながら、規範を守らせる会話について具体的に学びます。

ワークショップ受講後すぐにできることばかりです。それも2時間でコツをつかむことができます。



WEB サイト

ありがとう！子育てワークショップ【キッズ版】の動画をご覧になることができます。

東京で実際に行なったワークショップの様子や参加者の感想を収録しています。

ありがとう！子育て通信

子育てワークショップを受講された保護者の皆様が、学んだことを復習したり、実践例を知って励ましを受けたり、もう一歩先の子育てについてのヒントをもらったりするための無料メルマガです。まだ受講していらっしゃらない方も登録することができます。



教師・保育者研修

教師・保育者が、①保護者、②児童・生徒、③同僚との間で、良好な関係を結ぶための研修を、教育委員会や学校・保育関係機関で開催しています。

子育てワークショップ【サポート版】

発達障がいの子どもの育てている保護者を対象としたペアレント・トレーニングを実施しています。

組織変革・人材育成

政府機関、地方自治体、教育・保育・福祉諸機関、保護者団体に所属する人々が、各自の使命に添った具体的な行動を、主体的に、着実に、相互に助け合いながら実践するようになるために、コーチングやリーダー育成や相互支援システムの導入を提言しています。

世界市民啓発ワークショップ

世界が5人の村だとしたら、1人の豊かな人が4人分を食べ、残りの1人分をあとの4人が分けているという現実があります。児童・生徒、保護者、教師・保育者の三者を対象に、「余ったものではなく、自分にとって大切なものを分かち合う」生活実践について啓発しています。

